THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2020-2021）
国際会長主題：“VALUES,EXTENSION and LEADERSHIP”「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア会長主題：“Make a difference”「変化をもたらそう」
西日本区理事主題：“Let's do it now!”　「2022 に向け誇りを持って All is well」
中西部部長主題：「ワイズの力を信じて、自ら行動しよう」
クラブ会長主題：「一隅を照らす」

Monthly Bulletin
第 290 号
2021 年 3 月

聖書のことば
・・・天の父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださる・・。
マタイによる福音書 5 章 45 節
選者 保田　圭子

３月例会プログラム

日時：2021 年３月 13 日（土）14：00～16：00
場所：大阪 YMCA 102,103 号室

司会　今井　利子

1. 開会点鐘　桑原　頼子会長
2. ワイズソング：奏楽のみ
3. 聖句朗読　保田　圭子
4. ゲスト、ビジター紹介　桑原　頼子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. メンバー10 分卓話
   鳥居翠さん　吉田由美さん
   今井利子さん　和田早苗さん
7. お誕生祝い：奏楽のみ
8. ニコニコ献金　ドライバー
9. クラブ事務協議
10. YMCA の歌：奏楽のみ
11. 閉会点鐘　桑原　頼子会長

例会当番（A）　受付当番（D）

２　月　統　計
例会中止につき、計測不能

こんなお話しするつもりでした・・

何回かの例会中止で「メンバー卓話」
こんなこと話そうと思っていました・・・

楽しいはずの修学旅行が・・

生雲　文枝

皆さん、中学校の修学旅行はどこに行きましたか？私の学校は北九州でした。当時、島根県益田東中学校に通っていた私たちはバスを連ねて、修学旅行に旅立ちました。

惨事は３日目、熊本市内の旅館に宿泊していた夜に起こりました。深夜１２時頃、私は誰かの叫び声で目を覚ましました。「起きろー、起きろー、何も持ってはいけない。すぐ逃げろ」多分担任の先生の声だったと思います。私は何が何だかわからないまま、隣に寝ていた女の子と二人で部屋を飛び出しました。2 階に寝ていたのでらせん状になった階段を走りました。その時すでに廊下には煙が充満していて刺激臭が鼻を突き、ああこれを吸ったら、死んでしまうと思いました。何とか階段を下りて１階に着いた時、後ろを振り返るとテレビが火を噴いていました。必死で玄関を降り外に出ました。昭和４０年３月１２日、深夜の出来事です。

３月でしたから夜はまだ肌寒く、着の身着のままのパジャマ姿だったので寒いのは当然ですが、皆興奮していてその時は気が付きませんでした。先生が来られて点呼、私の班は全員揃っていましたが、隣の班から悲痛な声が「田原さんがいない」夜が明けてくるといろいろな情報が入ってきます。隣のクラスの女子生徒も見つからない、多分２名の女子の犠牲者が出たこと、旅館は全焼で火元はボイラー室ではないかなど。次の日、熊本市内の PTA の方が制服を用

犠牲者を悼んで建てられた益田東中学の記念碑

意して下さったのでそれを着て寒さを凌ぐことが出来ました。当然修学旅行は打ち切りとなり、バスで益田市に戻りました。益田に着くと母が出迎えに来ていて涙を流しているので、少し恥ずかしかった。怖い思いはしましたが、怪我もしていないのですから。

これが私の修学旅行の体験です。今回このお話しをしたのは人は生涯どんな災害にあうかもしれない、今回のコロナ禍もそうです。心して残りの人生を生きていかなければならないと思っています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「第32回阪和部会に参加して」

吉田　由美

２月 20 日　第 32 回阪和部会が、ハイブリッド形式にて開催されました。コロナ禍により各部会が中止となる中、『なんとしても開催しよう！』という、中井部長と奈良クラブメンバーの熱意に心動かされ、web 関係の裏方・協力者としてもスタッフの一員に入れて頂いています。

奈良商工会議所のメイン会場には、古田理事、新山次期理事も含め、総勢 22 名。サブ会場が３か所設けられ、大阪南 YMCA の大阪会場には今井さんも含め 16 名。和歌山 YMCA の和歌山会場には 27 名。キックスには大阪長野クラブ５名の登録者です。Zoom 形式ですので、西日本区各地から参加された方が、藤好さんも含め 62 名。講師である仙台 YMCA の村井総主事を含めると、総勢 133 名ものワイズメンが登録するという大きな部会となりました。

開会点鐘から始まる通常の部会形式です。『寄り添う！！忘れない！！』との部長主題に沿って、仙台 YMCA の村井伸夫総主事により、10 年が経過した震災復興支援の様子を、映像や資料を交えながらお話しいただきました。

2011 年３月 11 日に発生した東日本大震災から 10 年。復興を支えてきた YMCA 及び各クラブの働きをお聞きし、私達も再考しなければならないと強く感じました。

コロナ禍が始まって 1 年以上が経とうとしていますが、この 1 年間で最も進んだ事は、web 会議などを日常的に開催するようになった事でしょう。私自身、仕事柄少しだけ早くから IOT（物のインターネット）に触れていましたが、Zoom というアプリにより、一気に身近なものになっています。ワイズの IOT に対する理解力は、なかなか進まないようですが、YMCA は抜きん出ています。with コロナの救世主 IT・IOT 技術を今後は YMCA から学んで、怖がらず・避けず進んでいけば、新しい世界も広がっていく事でしょう。

ジャム作り奮闘記 ②

前回は準備段階についてお話ししました。いよいよジャム作り開始です

杉浦　眞喜子

大体 10 時過ぎから 10 時半過ぎ、みなさんが来て下さいます。手を洗って、三角巾を頭にかぶり、エプロンをして、（そして今はしっかりマスクをして）いよいよ作業開始です。作業は、果物によって色々です。一番簡単なのはイチゴ（あまりしたことはないのですが）、ヘタを取るだけ、種無し巨峰も割に楽、半分に切るだけです。一番面倒なのは、柑橘類のママレード作りです。皮をむいて細かく刻み、何回もゆでこぼしをし、一方実は袋から出して・・というように。りんごや柿は、皮をむいて刻んだり、フードプロセッサーにかけたりですが、柿は種が多くてそれを除くのが結構大変です。

そしていよいよジャム作りのクライマックス、用意した材料を炊きます。通常、材料の 30%弱のグラニュー糖を加えて炊き始めます。ものによりますが、しばらくすると汁が出てきて同時にアクも出てきますので、丁寧に取ります。ここで目を離すと、気がついたら底の方で焦げ付いていたということになったりするので、目が離せません。木べらでかき回しながら、アクを取ったり・・と。炊く時間はものによって色々です。短いものだと１時間弱のものもありますが、２時間近く炊かなければならないものもあります。りんごなどは比較的短時間で出来上がりますが、ぶどうなどは、いつまでたっても液体が多く煮詰めるのに苦労します。炊きあがってきたら、ハチミツを少しと、ブランデーをドボドボと入れます（これがなかのしまジャムの秘訣です）。そして味見をします。味と固まり具合を見ます。マスクをしていると、スプーンを口元にもっていって「アッ！」と。

（次号に続く）

私がワイズを知った時　【9】

江見　淑子

私がワイズを知った時は、まだなかのしまクラブの設立準備中でした。ワイズについて何も知らなくて、設立には20名が必要なので準備例会を見に来てほしいと杉浦さんから誘われたのがきっかけでした。

その時、山地さんがお話してくださり、ミャンマーでの縫製活動について熱心に話してくださいました。岡本教会のつながりで知り合っていた大谷節子さんも一緒に例会に出ていて、ミャンマーの活動に心を動かされました。センテニアルクラブの黒田さんに色々おしえてもらっていました。組織も活動も何もわからなかったのに、したいことがあり、「それなら、ワイズが応援できるかも・・」と山田孝彦さんに言われたのを憶えています。

わからないことが大好きな私は、早々と参加を決め、梅花を引退するギルグさんもさそいました。働きかけてくれた人、活動している人を信頼していたことが大切だったと思います。ギルグさんは「何をするの？」としきりに聞きますが「友達を作ればいいの！」とだけいいました。

入ってみるとクラブにお金がないことが大変と気付くことから活動内容や仲間の必要な事から組織についても学びました。人が人を呼び、思いもかけない展開をすることが面白かったです.

みんな若かったわね。あれから25年ですから。でも私たちはおばあさんのパイオニア。これから何があるのかわからないのは同じですからやっぱり面白い。今はこれからの人生ぃの一番若いときに違いない。人は一皮むくとそれぞれ面白い筈。ただし、理想に磨かれているからこその、若さでありたい今です。

YMCA ニュース

★ 第 329 回早天祈祷会★

日時…2021 年 3 月 19 日（金）7：30～8：15
※朝食会は実施しません。

奨励…古谷　佳之　さん
（大阪 YMCA 国際専門学校日本語学科　学科長）

場所…大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

= お知らせ=

◎元メンバー大谷節子さんより、CS 用お年玉年賀はがき当選切手と BF 用使用済み切手を頂きました。
感謝です。

私が行った国際大会、アジア大会
第 22 回国際大会（バンコク）

吉岡 香代子

タイのバンコクで開かれた第 22 回アジア大会（2007/8/9～8/12）に参加した。なかのしまからは杉浦眞喜子さんと私だけの参加だったが、西日本区、中西部からは多くの方々が参加していた。タイを訪れたのは２回目であった。初回は大阪 YMCA の職員で５年間勤務し、東南アジア５ケ国（香港・フィリピン・インドネシア・シンガポール・タイ）を観て勉強してくることになっていた。その時以来のタイ・バンコク訪問だった。

大会自体のことは残念ながら記憶がほとんど「無」に等しいが、参加者の中にミャンマーYMCA の顔見知りの方々がいたことを手許の写真から思い出した。たんぽぽの越智さんともご一緒した。エクスカーションなどで見学した市街地には仏塔が多く全て美しく金色に輝いていた。特に釈迦涅槃像は巨大な金色に輝いていたのが印象深く記憶に残っている。

大会終了後（8/13～8/14）タイの隣国であるカンボジアを観光した。アンコールトムとアンコールワット、２日間かけて見学したが、とにかく素晴らしかった。鬱蒼とした密林の中に点在する大小の石蔵の建築物。クメール（アンコール）王朝 600 年の栄華の遺跡群とのことだった。我々が行った当時まだまだ復元が進められていて、日本からも復元に協力しているということを聞き、少し誇らしい気分を味わったものだった。

ワイズの大会では、いろいろな所へ訪れる機会があるのに、今は新型コロナで出掛けることが出来ないのが残念だ。

２月ニコニコメッセージ

☆ 昨年から始めたウォーキングですが、近所を歩くのも飽きてきましたので、最近は神社巡りにバージョンアップしました。”関西の神社へ”という本を買って、大阪市内の神社にお参りに行っています。これまで参拝した神社は住吉大社、道修町の少彦名神社、高津宮などです。平日の人の少ない時間に行っていますので、どこも静かです。（生雲）

☆ 自粛の日々、体力減退、知力下降線、気掛かりな日々でした。先日眼科の検診で、「視力不変」先生から「運転免許取れるよ。白内障は 10 年間大丈夫」と診察結果でした。近視、読書用は眼鏡がいりますが、今後の自己管理が大切ですが、不安な中、とても嬉しい出来事でした。「何時迄も若い眼力で・・」（今井）

☆ 春を予感させる暖かさが嬉しいです。母が 2/18 日退院しました。新たな日々がはじまります。（江見）

☆ なかのしまの皆さん！病気療養とて電話でのお見舞いを辞退していましたが（ワガママで）最近はだいぶ元気が戻ってきました。声の調子はイマイチ。でもおしゃべりはOKです。 そのうち、ヘンな時間にお電話させていただくかもしれません。その時は、お聞き苦しいと思いますがよろしくお付き合いくださいね！（國友）

☆ コロナだからではありませんが、晩酌をします。簡単なお惣菜を作り、これなら日本酒、またはワイン、焼酎、ビールなどなど。幸いにも所謂「いける口」。でも嗜む程度（最近はグッと酒量が減りました）なので、毎晩ですが常習性ではなく夕食を楽しんでいます。（桑原）

☆ 編み物を始めました。かぎ針を握るのは 5,60年ぶりでしょうか？「長編みってどうだったけ？」と思っても今は便利、ネットに動画があります。編んではほどいたり・・なかなか進みませんが、楽しいです。何を編んでるかは，恥ずかしいから秘密です。（杉浦）

☆ 特に最近、息子がよく連絡してくれますし、来てくれたりします。気にかけてもらって、やっぱり嬉しいかな？（瀬島）

☆ この一年忍耐の日々でしたから、嬉しい事楽しい事の実感がありませんが、美帆の成長を感じます。「カナンの女の信仰」の説教を聞いて、わたしにはあのような信仰がないが、神様は少しずつ美帆を癒してくださる。このことが私の喜びなのかもしれない！教会、なかのしまクラブ、アトリエゆうハウスそれぞれの中心に神さまがおられる。美帆はとても素晴らしい環境に恵まれた。やっぱりこのことが私の喜びです！（武井）

☆ うちのスタッフちゃんの家に新しい命がやってきました。ちっちゃいながらもたくましく生きている命に癒されながら「頑張らないといけないな」という気持ちにさせられました。（鳥居）

☆ 今日は金曜日、とても寒かったですが好きなテニスに行ってきました。練習後試合です。「テニス上手になったよ」と言われました。とてもうれしかったです。（藤井）

☆ 中高一貫の恵泉女学園で学んだのですが、ほとんど記憶がありません。皆さまは覚えていらっしゃいますか？ただ１人だけとずーっと仲良くしてきた友がいます。彼女は母校で体育教師になって卒業後も同級生たちと仲良くなさっていました。そんな縁からラインが１人から９人のグループラインになっちゃいました。びっくりするほど若い日を覚えている同級生たちになかなかついていけない毎日です。（藤好）

☆ 土佐堀会館を出て左手にあるローソン、ここのスタッフのお一人がとにかく素晴らしい！学生がお店のコピー機に忘れ物をした時などすぐに連絡をくれますし(パスポートなど…)、学生のお店での様子も教えてくれます。これは私にだけではなく、他の部署のスタッフに対しても同様です。人間関係が希薄になっている世の中と言われますが、街中にあってもご近所付き合いを感じ、地域の皆さんに守られている YMCA であることにうれしくなります。（古谷）

☆ 1月、2月は本ばかり読んで過ごしました。頭の中は浮世離れしてしまいました。でも確かに歩かないと足が弱くなるのは実感します。そこで1日5000歩以上歩くことは心掛けています。なんか1日があっという間に過ぎてまあそれなりに楽しい引きこもり生活です。（保田）

☆ 行動制限が続く中、大好きな友人との楽しい食事やお酒、ささやかな旅行などを夢にまで見るこの頃。その一方で、家にこもってちょっとした料理や音楽や観葉植物の世話や部屋の模様替えなどが、こんなに楽しいものだと気づいたこの一年でした。お家は楽しい！（山佐）

☆ こんな時期だからこそ新たに気づいた喜び！ベランダにある植木鉢にいつの間にかシクラメンの花が咲き誇っている。ただ時々水を注いでいるだけだったのに咲いてくれている。また新しい花の種を買って来ようと思う。（吉岡）

☆ 昨年は開催されることが少なかったコンサートですが、今年に入り何度か会場に行くことが出来ました。収容人数30%程度で、演奏される方にとっては辛い状態でしょうが、聴く側は独占しているように思い、生演奏の良さを感じています。コロナ禍により最も打撃を与えられている音楽関係の、少しでも力になりたいと思います。（吉田）

☆ こんなにゆっくりゆっくりした生活をしながらだったのに、コロナと騒がれだして早や一年が経ちました。なんと速いこと。孫が小、中学校最終学年だったゆえに、締めくくりの学校行事が出来るのか出来ないのか？さらには、高校入試が出来るのか？精神的な動揺がいかほどか？などを心配していたなあと思いだします。その孫たちは、今は新しい環境になじみ、元気に暮らしている様子。この時期の経験は大人になっても記憶に残り、少々の不自由さがあろうとスルーしていけることだろう。（和田）

編　集　後　記

緊急事態宣言が解除になり，日差しも春らしくなり・・ワイズも「次期」を考える時期になってきました。アフターコロナのワイズ活動のあり方を真剣に考えないと・・。